

東洋大学校友会埼玉県東部支部会報《リーフレット电子版》

**彩の国さいたま** 第15号

作成/2022年3月11日 (一社)東洋大学校友会 埼玉県東部支部 広報部

この「彩の国さいたま」《リーフレット电子版》は、校友会埼玉県東部支部の最新の活動状況、企画案内、会員の動向などの情報を、支部会員の皆様に年数回不定期でお届けするものです。速報内容は、支部役員および会員の皆様から頂戴した情報や写真とともにまとめていきます。なお、リーフレット版は、画像電子版として作成しています。支部分にも掲載することを基本的にしています。支部のLINE登録会員の皆様にも配信します。奮ってお読み頂きたい存じます。

支部広報担当(副支部長) 黒井 登起雄

【校友会本部の動き】

新しい「校友会代議員」が選挙で選出されました！  
初めての(一社)東洋大学校友会の

- 代議員選挙実施の経過  
(第15回理事會報告：校友会ジャーナル No.279/2022.1.18)
- 2021/11/1付：選挙告示を校友会HPおよび「校友会ジャーナル」に掲載。
  - 2021/12/6：選挙管理委員会で立候補者数等を確認。
  - (立候補者数200人、選挙実施は2支部、立候補者なしは2支部)
  - 2021/12/14：選挙実施支部の正会員に選挙方法についてハガキを郵送。
  - 2021/12/15：立候補者の氏名・抱負等を校友会HPに掲載。
  - 2022/1/13～2/10：投票期間(電子または郵便投票)
  - 2022/2/15：選挙管理委員会で開票、新代議員を確定予定。
  - 2022/2/17：新代議員を校友会HPに掲載予定。
- 令和4(2022)年度校友会代議員會開催日(予定)：5月21日(土)

(一社)東洋大学校友会ホームページ 2022(令和4)年2月17日

No	代議員(氏名)	卒業年・学科
1	渡部 俊彦	1965(昭和40)年経営
2	緑川 輝彦	1967(昭和42)年経済
3	佐久間 義範	1968(昭和43)年法律
4	根立 浩司	1968(昭和43)年経済
5	黒井 登起雄	1971(昭和46)年院修土木
6	関口 律	1973(昭和48)年社会
7	小菅 喜美子	1974(昭和49)年社会
8	柴崎 重雄	1974(昭和49)年商学
9	沼口 伊一	1974(昭和49)年経営法
10	青木 章次	1975(昭和50)年経営
11	中里 繁夫	1975(昭和50)年土木
12	伊藤 祐二	1976(昭和51)年経営法
13	橋北 克子	1980(昭和55)年商学
14	中山 貴史	1989(平成元)年応用社会
15	金沢 篤史	2012(平成24)年法学

「代議員選挙」が「代議員選挙実施の経過(上記参照)」に示した手続き、日程のもと行われ、確定した15名の埼玉県東部支部選出の代議員(任期：令和4(2022)年2月～令和7(2025)年)が、令和4(2022)年2月17日掲載されました(図1参照)。新たな支部代議員は、前任の8名に、新任7名が加わり、15名となりました。また、この度の(一社)校友会の代議員選挙の結果によると、全国の新任の代議員195名が発表されました。しかし、青森県と城北の2支部で選挙が行われ、追加発表もあり、最終的に

198名の代議員が決定されました\*1。令和4(2022)年以降の3年間、埼玉県東部支部の諸活動は、この度の選出代議員を含めて構成された支部役員で立案・計画され、行われる予定です。コロナ感染が収束し、活発な活動ができることを望んでいます。また、今年度以降の支部役員の構成名簿および役割分担などは、中里繁夫支部長のもとで、今年度の支部総会(校友の集い)において審議・承認を得て、お知らせいたします。

\*1 2022.17 東洋大学校友会HP(母校支援ニュース)代議員選挙・新任代議員が決まりました  
校友会ジャーナル No.280 (2022.2.29) 文責・画像編集：黒井登起雄(支部広報担当)

図-1 校友会の確定した代議員(埼玉県東部支部選任)



写真-1 旧澁澤邸(澁澤榮一一家)と『澁澤榮一を歩く』(毎日新聞)

寄稿 『澁澤榮一を歩く』を読んで！  
副支部長 黒井 登起雄  
(昭和46年院修土木)

【ブローグ】

東洋大学校友会の埼玉県東部支部においては、熊谷市、行田市、深谷市などの北部地区にも多くの卒業生(校友会員)がおります。私も、昭和56(1982)年3月から熊谷市に住んでおり、仕事の関係から煉瓦製造施設、煉瓦工場専用線跡地の遊歩道などの史跡(深谷市)を何回か見学してきました。当支部においても、以下のように、校友会企画で見学会を実施してきました。この度は、さらに、埼玉県深谷市と、澁澤榮一翁の業績・貢献を東洋大学の校友の皆様様に「地域情報」としてご紹介致します。

◎「秋の旧遊歩道散策(報告)」

(支部ブローグ2011.12.1掲載)…内容は、平成23(2011)年11月13日(日)に開催した支部企画「旧日本煉瓦専用線遊歩道散策と煉瓦史料館の見学」(参加者11名)の約4kmの遊歩道散策の報告です。

◎リーフレット电子版第2号(支部ブローグ2020.9.1掲載)…内容は、「澁澤榮一翁」論語の里めぐり』として深谷市に点在する澁澤榮一翁関連の史跡見学などを記したものです。

◎支部ブローグ「令和3年の楽しい



写真-2 『澁澤榮一を歩く』(毎日新聞)からの記事引用



写真-3 深谷市 HP (1万円新紙幣デザイン)、日本煉瓦史料館



写真-4 世界遺産「田島弥平旧宅」と徳川氏発祥の地

『支部女性の集い』へ澁澤栄一の原点「深谷をめぐって」を開催しました！(報告) (2021.11.30掲載)・・・内容は、参加者15名の支部女性の集いの行事報告です。

【『澁澤栄一を歩く』を読んで】

『澁澤栄一を歩く』は、毎日新聞(埼玉県版)において令和3(2021)年1月9日(土)から毎週一回掲載の記事です。私は、毎日新聞(日刊)を購読していますので、第一回から毎週土曜日に読むことにしています(写真-1、写真-2参照)。その内容は、第一回の「①『中の家』の跡取り息子」から始まり、「②日

本初の株式会社」③合本主義で動脈創る」④500社の創業に関与」⑤経営陣のセットで作る」などが続き、「⑥既婚女性の働く場」(40回、2月26日)などになっています。澁澤栄一関連の著書\*2とは異なり、毎回「深谷市澁澤栄一政策推進部」の協力で、新しい澁澤栄一の知見が記載されています。⑧工場誘致を陣頭指揮(深谷に日本煉瓦)2/5「⑨諦めずに粘り強く(日本煉瓦の経営)2/19」の回の記述(写真2参照)は、2006年の日本煉瓦製造(株)上敷免工場閉鎖までの間、私も数回にわたり工場見学した縁もあり、興味深く読ませ

て頂いています。現在、この煉瓦施設跡は、「旧煉瓦工場のホフマン輪窯」の耐震補強工事中ですが、その終了(令和6年頃)を待って再度見学をと考えています(リーフレット電子版第2号参照)。

\*2 『澁澤栄一の92年の生涯(白石喜太郎著)』『雨夜譚 澁澤栄一自伝(岩波文庫)』『NHKテキスト(30分de名著 澁澤栄一 論語と算盤(守屋淳著)』『小説澁澤栄一(幻冬舎文庫)』

【その他の関連情報】

(1) 澁澤栄一翁肖像の新一万円紙幣の澁澤栄一翁の肖像画が一万円札紙幣のデザインに決まり(写真3参照)、令和6(2024)年上期には、新一万円札が発行される予定になっています(新5千円札紙幣が津田梅子女史、新千円札紙幣が

北里柴三郎博士の予定)。また、新一万円札の裏面デザインは、深谷市の旧日本煉瓦製造(株)上敷免工場製造の煉瓦が使用された東京駅の駅舎とのこと。す。

(2) 徳川氏発祥の地もあります

江戸幕府を開いた徳川家康公は、三河国松平氏の嫡男として生まれ、諱を松平元信、元康と改名し、征夷大将軍に任官しています。その際に新田氏庶流の「世良田徳川」姓を名乗ります(本姓を源氏または藤原氏)。私は、昭和43(1968)年の岡崎市(工学部の産学協同実習で約1.5ヶ月)や、昭和48(1973)年以降(約43年間)永く勤務した足利市(現在の足利大学)の関係から、源氏ゆかりの土地にご縁がありました。足利市周辺には、源頼朝、義経を輩出した河内源氏の流れを汲む足利氏、新田氏、岩松氏、徳川氏などの支配地があり、関連史跡も多くあります。徳川氏発祥の地にある「世良田東照宮」「永徳寺」などは、私の住んでいる熊谷・妻沼近くの群馬県太田市、伊勢崎市にあります(写真4参照)。また、伊勢崎市には、世界遺産(富岡製糸場と絹産業遺産群)に指定されている養蚕業の「田島弥平旧宅」もあります。

【エピソード】

澁澤栄一翁の関連史跡・遺構だけでなく、多くの観光スポットも埼玉県熊谷・深谷市、群馬県太田・伊勢崎市にはあります。校友会支部の企画に限らず、個人的な計画でもご案内(情報提供)いたしますので、ご連絡をください。